

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

1 パブリックコメント実施期間 令和5年10月10日（火）から11月9日（木）

2 意見数 1名、15件

3 ご意見に対する市の考え方 次の表のとおり

NO	意見内容	回答所属名	市の回答	修正有無
1	<p>1. 全体文書構成</p> <p>本編で128ページ、別冊53ページ、概要版20ページの大作かと認識しています。電子文書で可読性を高めるようにしたほうがいいかと思えます。具体的には、しおり付きPDFは必須であると思えます。できれば、NativeなHTMLでの提供を作成段階から考慮すべきです。</p> <p>例えば、英国政府は国民向けにpdfでの提供を禁止しています。これは、pdfを作成するだけで行政の仕事をしていると考えることの警告や、本当に国民に伝えるためにどのようにすべきかの検討結果によるものだと認識しています。</p> <p>特に本書は、文学作品のような読み物ではなく、必要箇所をいたりきたりしてみる文書であり、例えば、概要で興味ある政策を見つけたら、それに対して本編の記載や、別冊の予算などを確認し、それらを繰り返し実施するような読み方が容易に想定されます。それに合わせて文書にハイパーリンクや、しおりなどをつけて可読性を高める必要があると思えます。なお、しおり付きPDFに関しては下記が参考になるかと思えます。</p> <p><a href="https://www.antenna.co.jp/pdf/reference/pdf-shiori.html">https://www.antenna.co.jp/pdf/reference/pdf-shiori.html</a></p>	企画政策室	<p>可読性を高めるためしおり付きPDFでの提供について検討していきたいと思えますが、すぐの対応はできないため、計画を公表する際には、全文一括PDFファイルのほか、分割版のPDFファイルをダウンロードできるように掲載し、可読性を高めるようにします。</p>	無
2	<p>2. 全体の記載方法</p> <p>記載方法で気になるのは、当初の令和3年3月発行の「鎌ヶ谷市総合基本計画」では、令和3年度～8年度までの計画を策定、公開しています。今回は、前半3ケ年が過ぎたので、それを加味して令和6年度～8年度の見直しを実施する位置づけだと認識しています。</p> <p>本編では令和2年度～4年度の実績を記載はしてくれていますが、以下の記載がありません。</p> <p>当初の令和2年度～4年度の計画、当初の令和5年度～8年度の計画。令和2年度～4年度の実績をみるときに計画と比べてどうだったのかなどの業務の状況等を確認できるようにしたほうがいいかと思えます。その上で、当初の令和5年度～8年度の計画に対して、今回、その計画をどのようにするかを明確に示したほうがわかりやすいと思えます。</p> <p>特に別冊の予算(費用)に関しては、非常にわかりにくくなってしまっているのではないかと思います。</p>	企画政策室	<p>当初の計画である第1次実施計画については、令和3年度からの計画となりますが、計画の達成状況について適切に検証及び進行管理するため、各年度の当初予算編成、補正予算等に伴って改訂を行っています。</p> <p>ご指摘のとおり、当初の計画である第1次実施計画の内容を記載することで、当初の計画との違いが明確になる部分もございますが、上記のとおり、この3年間で何度も改訂を行っていることなどを踏まえ、当初の計画は記載しないこととします。</p> <p>なお、当初の計画及び改訂後の計画は、市ホームページで公表しております。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	回答所属名	市の回答	修正 有無
3	<p>1. 胃内視鏡検査(胃がん検診)事業 当初年間40,000の計画でしたが、今回の補正版では155%に増され61,955になっている。それに対する説明がなされていない。両方とも50歳以上を対象で胃部エックス線、内視鏡を対象にしており、検査費用、50歳以上の人口の予測等も大きく変化していないため、その増加の理由を明確にするべきかと思えます。また、令和3年～6年の実績も公開されていないため、非常に説明不足ではないかと思われます。</p>	健康増進課	<p>当初40,000千円から61,955千円への増についてですが、この変更は令和5年度当初予算編成時に行ったもので、令和5年度から胃内視鏡検査（胃がん検診）を開始するにあたり、検査実施見込み人数を再積算したこと、必要となる二次読影機器使用料を新たに追加したことから、当初（第1次実施計画策定時）より増額となったものです。本事業経費計上に伴い、経常経費（各種健（検）診に要する経費）における胃がん検診委託分等が約16,000千円減額となっております。また、本事業は令和5年度から開始しているため、年度単位の実績値はございません。なお、令和6年度当初予算編成時の事業経費については、令和5年度の受診人数の実績を踏まえ検査実施見込み人数を再積算し、35,829千円としております。</p>	無
4	<p>2. 健康相談記録管理システム整備事業 当初の計画ではシステム運用費として年間3,000とされていた。運用費のため費用が継続してかかるのではないかと思われます。</p>	健康増進課	<p>健康増進課で従前から導入済みの健康管理システムにおいて、相談記録機能を無償対応の範囲で追加できることが判明したため、令和4年度中に改修を行いました。また、母子保健を中心とした健康相談記録管理システムとし、伴走型相談支援・出産子育て応援給付金に要する経費を活用することとしたため、実施計画から取り下げをいたしました。</p> <p>なお、令和5年度から基幹系端末を増設し運用を開始しており、運用経費につきましては、基幹系機器賃貸借として年間186万円を、伴走型相談支援・出産子育て応援給付金に要する経費に計上しております。</p>	無
5	<p>3. 総合福祉保健センター改修事業① 当初は、令和5年度までかけて「非常用放送設備」を改修する計画が公開され、令和6年度～令和8年度までは計画がなかった。しかし、今回、令和6年度～7年度にかけて53,924をかけてLED照明改修が予定されている。既にかかなり前に市役所のLED化に関して市民から要望があったと認識しています。総合福祉保健センターのLED化があまりにもこれが今回の補正の計画で提案されることは、あまりにも時期が遅すぎるのではないかと思えます。</p>	社会福祉課 契約管財課	<p>地球温暖化対策の一環として、本市では、照明のLED化を進めているところですが、小中学校や公民館など多くの公共施設を有している中で、照明数が多い施設の方が省エネルギー効果が高いことや市役所など休館ができない施設は休日施工に限られること等を踏まえ、全庁的に対応を検討し、全ての施設を一斉に実施することが困難なことから、計画的に実施していくこととしたものです。</p> <p>具体的には、令和5年度に小中学校4校の工事、令和6年度に小中学校4校に加え市役所の工事、令和7年度に小中学校3校に加え総合福祉保健センターの工事を行うことで計画し、第1次実施計画（補正版）（案）に計上したものです。</p> <p>今後も計画的に改修を進めていく予定ですが、他の改修工事に併せてLED化を行うなど、可能な限り、早期の対応ができるよう取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	回答所属名	市の回答	修正有無												
6	<p>3. 総合福祉保健センター改修事業②</p> <p>特に建物等のいわゆる箱物の長期改善計画に関しては、分野が違いますが、市が現在パブコメ中の「マンション管理推進化計画」では30年以上の改善計画とそれに見合う積立金の計画を要求しています。総合福祉保健センターに限らず、市の建物等に長期改善計画を策定、見直しすることを望みます。これにより、今回のように、あまりにも遅く、計画されていなかったLED化などが減らせるのではないかと思います。</p>	<p>営繕室</p>	<p>本市では平成29年3月に鎌ヶ谷市公共施設等総合管理計画を策定し、公共施設の長寿命化について基本的方針を定めました。</p> <p>また平成31年3月には計画に基づき、鎌ヶ谷市市有建築物長寿命化計画を策定しております。照明機器等のLED化につきましては、令和5年3月に鎌ヶ谷市公共施設等総合管理計画の一部改訂を実施のうえ、太陽光発電設備の設置やLED照明等の導入による脱炭素化の推進方針について新たに計上いたしました。</p> <p>今後も随時、鎌ヶ谷市公共施設等総合管理計画の精査・検証を行い施設の長寿命化に努めてまいります。</p>	<p>無</p>												
7	<p>4. 総合福祉保健センター分館整備事業</p> <p>前記のように総合福祉保健センターの長期完全計画も適切に策定、公開されていない状態かつ、新規の建物等の建設は避けるべきだと思います。特に鎌ヶ谷市は規模が小さく、今後、人口が減少していく予想があるところで避けるべきだと思います。特に相談窓口、執務スペース等の確保のためには、鎌ヶ谷市だけにこだわることなく、周囲の市との協力を実施してそこに設けるような計画を検討すべきではないかと思います。鎌ヶ谷市は、市の特徴として鉄道網が発達しており、近隣の松戸、船橋、白井、柏等へも簡単にアクセスできます。このため、相談窓口をそれらの市に(できればそれらの市の役所等に間借りする等)設けることも考慮すべきだと思います。</p> <p>このような理由のため総合福祉保健センター分館は、市民の1人としては反対です。</p>	<p>社会福祉課</p>	<p>本事業につきましては、福祉関係部門の相談窓口や執行スペースの確保が課題となっていることから新たに分館を整備するものです。</p> <p>本市におきましては、これまで積極的に、行政改革を推進し、指定管理者制度の導入、組織のスリム化など、市職員数の適正化を図ってきましたが、少子高齢化の進展などに伴い、福祉関係部門におきましては、介護保険や子育て支援などの業務が増えている状況にあります。</p> <p>このような状況のなか、総合福祉保健センターにおきましては、ベビーカーを使用する子育て家庭や車椅子を使用する障がいをお持ちの方など通路の確保が難しいことに加え、執務スペースにおきましても、同様の状況となっております。</p> <p>なお、施設整備にあたりましては、出生、転入など福祉関係部門以外の所属とも連携を図る必要があり、市役所の同一敷地内での整備を予定しております。</p>	<p>無</p>												
8	<p>5. 結婚新生活支援事業</p> <p>当初の計画では年間3,000でしたが、今回の補正では420%された12,600とされています。事業内容が、当初は補助金だけであったものは、今回、事業の周知が追加されています。事業の周知は、非常に重要だと思います。鎌ヶ谷市民ですが、このような補助金があることを知りませんでした。周囲の市と比べて遜色のない補助金にする必要があると思います。さらに周知は、鎌ヶ谷市への引越し等を強化するため、鎌ヶ谷市以外で実施する必要がある。また、鎌ヶ谷市は規模が小さい特徴もある。これらのため、周知に関しては、県に積極的に依頼して実施すべきものだと思います。県からの発信に千葉県内の各市町村の補助金などを明確にして、しっかり伝わるようにしてもらおうよう働きかけを実施すべきかと思っています。補助金は各市町村で、周知に関しては県が負担する等の役割分担にして周知できていない点は明確に県に意見を述べていくべきではないかと思います。</p> <p>まずは、3,000の計画が令和3年～5年の実績がどうだったのか、それをもとにどのような根拠で12,600にしたのか、また、令和6年～8年までがなぜ、毎年同じ金額なのかなどの根拠をしっかりと公開すべきではないかと思っています。</p>	<p>企画政策室</p>	<p>結婚新生活支援事業の各年度の補助金の実績ですが、令和3年度は9件で2,375千円、令和4年度は前年度上限額に達していない分の3件を含む28件で7,454千円となっております。</p> <p>なお、令和4年度は申請件数が多かったことから補正予算を組んでおります。</p> <p>次に、12,600千円の根拠ですが、令和4年度の実績を踏まえ次のように積算しております。</p> <table border="1" data-bbox="1632 1612 2418 1801"> <tr> <td>夫婦とも29歳以下</td> <td>60万円×10件=</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td>夫婦とも39歳以下</td> <td>30万円×20件=</td> <td>6,000千円</td> </tr> <tr> <td>事業の周知</td> <td></td> <td>600千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>12,600千円</td> </tr> </table> <p>また、周知に関しては、鉄道事業者に協力をいただき駅構内へのポスター掲示や電車の中吊り広告への掲出をおこなっているほか、県ホームページへの事業概要の掲載などを行っております。</p>	夫婦とも29歳以下	60万円×10件=	6,000千円	夫婦とも39歳以下	30万円×20件=	6,000千円	事業の周知		600千円			12,600千円	<p>無</p>
夫婦とも29歳以下	60万円×10件=	6,000千円														
夫婦とも39歳以下	30万円×20件=	6,000千円														
事業の周知		600千円														
		12,600千円														

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	回答所属名	市の回答	修正 有無
9	<p>6.産婦健康診査事業</p> <p>非常に重要な事業の1つであると思います。「出産2週間後及び1か月後に産婦健康診査を受診する費用」に関しては国からの補助もあると認識しています。その国での補助では賄えない部分、隙間の部分を市として適切にカバーしていく必要があると思っています。しかし、現在の計画では国からの補助がどの部分でどれくらいなのか、その不足がどこで、どこを市が強化していく計画なのかが公開されていなく非常に見えないのかと思います。年間7,960で足りるのか、令和6年～8年で毎年、同じ金額である根拠はなど不明点が多いのかと思います。</p>	健康増進課	<p>ご意見のとおり、国庫補助金の対象経費は、産婦健康診査委託料と償還払いを行うための助成金のみとなっております。その補助額は1回あたり5千円を上限とし、補助率は2分の1となっております。</p> <p>また、契約事務等を行うための人件費や、受診券の印刷製本費等は市負担となりますが、産後うつ予防など出産直後の母子への支援を強化し、産後回復期の支援を早期に実施できるよう、その体制を整備してまいります。</p> <p>なお、令和元年度以降、出生数が年々減少していることから、その対象者の大きな増加は見込まれないため、現時点では令和8年度まで同額で計上しておりますが、今後の実績等の状況を見ながら経費を精査してまいります。</p>	無
10	<p>3. 市民への発信への対応</p> <p>別冊P42「図書館改修事業」において、「トイレ改修設計」が令和8年度に記載されています。これから改修自体は、令和9年度以降に実施するように読み取れます。</p> <p>令和3年12月25日(月曜日)から令和4年1月27日(火曜日)に実施されました「鎌ヶ谷市子どもの読書活動推進計画(第二次)(案)」のパブリックコメントの「ご意見に対する市の考え方」においてのNo3で、「(a)トイレが古い。本館のトイレにつきましては、令和7年度に全面改修を予定しております。」との市の考え方が示されています。その考え方から2年以上遅延しているように思えます。もちろん、「新京成線高架下における図書を保管するための書庫整備工事」等、急であり優先度の高い事業があり、それ以外が後になったのではないかと推測できます。しかし、1市民のコメントではありますが、市としての考えとして公開しているので、それを守る、事情があり守れない場合は適切に市民に説明する必要があるのではないかと感じています。機能的には問題ないですが、このような市民への意見をないがしろにしているような対応はいかがなものかと思います。</p>	生涯学習推進課	<p>ご指摘のとおり第1次実施計画においては、図書館のトイレ改修については令和6年度設計、令和7年度改修工事と位置付けられており市民の皆様へのアンケート等ではそのように回答してまいりました。</p> <p>このたび第1次実施計画(補正版)(案)の策定にあたりましては、図書館が開館後35年経過していることを踏まえ利用者の安全性の確保、建物の長寿命化の観点から改修事業の優先度を再精査した中で、トイレの改修を2年後ろ倒ししたものです。</p>	無
11	<p>4. 全体の計画</p> <p>全体の計画に対して、大きく不足している観点として、鎌ヶ谷市の特徴を十分に考慮されていないのではないかと感じます。鎌ヶ谷市の特徴として、(1)周囲に大きな市がある。(2)鉄道は便利だが道路はひどい。(3)小さい市であるので予算が低い。</p> <p>これらも十分考慮して検討すべきかと思います。</p> <p>(1) 周囲に大きな市がある。</p> <p>周囲の市と比べて行政サービスが劣ることがないようにする。まずは全ての計画された施策に対するサービスレベルを周囲の市と比較をして公表する。</p>	企画政策室	<p>行政サービスの提供にあたっては、各市における課題や状況の変化、市民ニーズなどを踏まえる必要があるため、本市においては毎年度実施している行政評価において環境分析を行い、必要な施策や行政サービスを提供しております。</p> <p>周囲との市との比較については、こうした環境分析等の機会を捉え必要に応じて調査してまいります。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	回答所属名	市の回答	修正 有無
12	<p>(2) 鉄道は便利だが道路はひどい。</p> <p>鎌ヶ谷市において、以前は、踏切が道路渋滞の原因ではないかとされ、鉄道高架化が渋滞の解決だと洗脳されていた感があるのではないかと思います。しかし、現時点で、鉄道の高架化が実現できたのかかわらず、道路渋滞は余計にひどくなったように思えます。エリヤフ・ゴールドラットのクリティカルチェーンで示されているようにボトルネックが変わったことによるものではないかと思っています。従来は、踏切により流入する車が制限されていたものが制限がなくなったことにより、その先の道路のボトルネックを先頭に渋滞がひどくなったのではないかと思います。</p> <p>現時点において、踏切がなくなった影響、渋滞の真の原因追及の調査などを県、国、アカデミアに依頼してもいいのではないかと思います。</p> <p>鎌ヶ谷市を通る車をできるだけ減らして、鉄道を利用してもらう。市役所に車で行く代わりに、船橋、柏、松戸、習志野、市川市等に電車でいってもらう。</p>	道路河川整備課	<p>新京成線連続立体交差事業におきましては、事業主体である千葉県から、踏切の除却により自動車ボトルネック踏切と交差する道路の平均旅行速度が向上し、交通渋滞が緩和されたとの調査結果が示されております。詳しくは、千葉県ホームページの「令和2年度第4回千葉県県土整備公共事業評価審議会の開催結果」のページ(<a href="https://www.pref.chiba.lg.jp/kendosei/shingikai/kokkohojo/r02-4kekka.html">https://www.pref.chiba.lg.jp/kendosei/shingikai/kokkohojo/r02-4kekka.html</a>)をご参照ください。</p> <p>しかしながら、市内では幹線道路を中心に慢性的な交通渋滞が発生している状況であることから、有効な交通渋滞対策について関係機関と協議しながら引き続き検討してまいります。</p>	無
13	<p>(3) 小さい市であるので予算が低い。</p> <p>小さい市であるから、行政サービスが大きいところに劣るとか、その予算規模に応じたサービスのみ提供するとかの考えにならない方策が必要かと思っています。</p> <p>周囲の市と共同で事業を実施する、県、国に事業をお願いするなどを、もっと積極的に実施すべきかと思っています。鉄道網が発達しているので、鎌ヶ谷市民は鎌ヶ谷市役所でサービスしなくても、船橋市、柏市、松戸市でサービスしたほうがより便利になるかもしれない。それらの市では、規模の経済の考えで、規模が増えると単価が減る部分で鎌ヶ谷市民を受け入れてくれるのかもしれない。</p>	企画政策室	<p>現在、ごみ及びし尿処理業務、斎場及び特別養護老人ホームの管理運営業務、消防通信指令業務などについては、一部事務組合又は協議会を設置したうえで、広域的な連携を図っていますが、その他の分野についても引き続き調査研究してまいります。</p>	無
14	<p>① 県道8号線歩道の整備を</p> <p>毎日の生活も災害時避難場所へ移動する際も、一度県道に出なくてはなりません。狭くて段差がある上、民家からの草木や雑草でとても危険です。大がかりな拡張が難しいようでも、何か対策をお願い致します。</p>	道路河川整備課	<p>県道8号船橋我孫子線の歩道整備や段差の解消、民地からの草木の越境について、いただいたご意見につきましては、県道管理者である千葉県東葛飾土木事務所に要望してまいります。</p>	無

パブリックコメントの意見及び市の回答一覧

NO	意見内容	回答所属名	市の回答	修正 有無
15	<p>②民間委託の明確化を 社会協議福祉会が市から委託された民間会社であることを知らず、提案したいプランの相談窓口を探すのに時間がかかりました。</p> <p>「市民ミュージカル」に申し込んだ際、きらりホール館長の私的な芸術論を押し付けられ「参加ご遠慮下さい」というメールを受け取りました。公共の施設長がやって良いことなのか疑問が解消できません。</p> <p>現在業務を委託している会社名と、市民へのサービスとして疑問に感じた時にどうすれば良いのか、問い合わせ先を明確にして欲しいです。</p>	社会福祉課 文化・スポーツ課	<p>≪社会福祉協議会≫ 社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく法人で、地域福祉を推進する各種団体の参加により、地域福祉の推進の中核として役割を担っている団体となります。</p> <p>市では、地域福祉の向上を図るため、社会福祉協議会に対して補助金を交付しているほか、一部の事業を委託しており、引き続き、社会福祉協議会と連携を図るとともに、わかりやすい案内表示や制度の更なる周知を図ってまいります。</p> <p>≪きらりホール≫ きらりホールは、民間事業者が管理運営を行う指定管理者制度を導入しており、株式会社セイウンが運営しております。</p> <p>市民へのサービスとして疑問に感じられた際、直接施設にお話しいただいても解決しない時は、担当課（きらりホールの場合は文化・スポーツ課）にご連絡ください。問い合わせ先がわかりづらく申し訳ございませんでした。鎌ヶ谷市のホームページで、施設名を検索いただくと、施設の紹介の最後に、問い合わせ先を明記しておりますので、ご参照ください。今後は、今以上にわかりやすい案内表示を心がけてまいります。</p>	無